

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。



テルモ株式会社

2024年2月8日

2024年3月期 第3四半期 決算説明会 質疑応答

2024年2月7日に開催した決算説明会における質疑応答は下記の通りです。

山口様：ありがとうございます。

1点目は、説明では言及がなかったんですけど、CSL 向けの Rika ビジネスの状況と、おそらく新年度に向けて新しい契約が成立しているかと思うんですけど、それがどうなったのかということのアップデートをお願いできますでしょうか。

テルモ 畑：ありがとうございます。アントワネットが来ていますので、答えてもらいましょうか。CSL のビジネスのアップデート。

テルモ ギャヴィン：ご質問ありがとうございます。

私たちはかなりの進展をすることができまして、こちらの Rika デバイスを展開しております。30 センターまで展開しております。これはおおよそ CSL のセンターの 10% を占める施設となっております。そして、今後 12 カ月から 15 カ月をかけて、さらにこちらを展開してまいります。70 万以上の累計の血漿採取ができております。

畑：念のためにおさらいしますと、今、30 センターまで開いています。前回の発表のときは 17 だったので、そんなすごいペースではないですけども、順調に開いていっています。

それから、ここから先のロールアウトの見込みですけれども、CSL さんと合意したのが、大体 1 年半もかからない、12 から 15 カ月と言いましたけれども、来週また CSL さんから発表があると思うんですが、

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としたものではありません。

その時間軸です。なので、来年 2025 年の夏までにはロールアウトは終わるとというのが、直近で合意した内容です。価格等の条件については、ここでは伏せたいと思います。

山口様：ありがとうございます。700K とおっしゃったのは何でしたか。

畑：今までの回収、どれぐらい血漿採取ができたかという累計の数です。

ギャヴィン：ドナー採取ができておりますということです。1 月末までに 70 万以上のドナー採取ができております。

また、大規模なセンターということで、CSL に特化した取り組みをしております、中には 1 日 1,000 人のドナーから採取ができていところもあります。テキサスのブラウンズビル、またメキシコの国境近くのところの施設ですけれども、そちらのデバイスでは、1 日で 16 ドナーから血漿の採取ができております。非常に力強い内容だと思います。

畑：直近の 30 センターまでには、国境にある比較的大きなボーダーセンターというやつも Rika が入り始めていますので、いよいよ間もなく本格展開に入るということです。

山口様：分かりました。

あと、簡単に二つ目に、説明の中で、Q3 に血液・細胞テクノロジーが減損になったという話があったと思うんですけど、どういう内容でいくらだったのかというのはご説明いただけますか。

畑：生産設備の減損というやつですよ。今ちょっと音声途切れたんですけど、そのご質問ですよ、

山口さん。

山口様：はい、そうです。

畑：これは短信の 12 ページにも書いているんですけども、基本的に今、Rika の立ち上げというのは、なるべく全自動のライン、大きなのを入れていますが、いくつかのモジュールに分けています。そ

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

の一部で自動化の立ち上げで、いくつかのオプションを試していました。

いよいよこれでいこうとなったので、代替策で考えていたやつを今後使わないということで、今回 CSLさんと合意ができたので、このいいタイミングで使わないものは減損したということです。短信のほうで書いていますけど、それが18億ぐらいです。ですので、これはワンタイムと考えていただいています。

山口様：ありがとうございます。以上です。

甲谷様：みずほ証券の甲谷です。

1問目が、7ページの棒グラフ、右側の素晴らしい棒グラフがあるんですけど、上期から見ると、インフレと収益改善策は相当良くなっていて、ミックス改善、多分これが減損なんですかね、が入っているのかよく分からないんですけど、前は多分ちょっと増えるというのが。

畑：そうです。一番右下が赤くなってしまっているのが、今、申し上げたやつです。

甲谷様：なので、これを見ると、正直、この期も、売上の割にはもうちょっと利益が出てもいいんじゃないのかなというのは、多分さっきご説明あった、この減損と未実現利益があったので、それ以外あるのか、何か他に一過性の費用があったのかの確認と、これを見ると、インフレ収益改善策も第4四半期はもうちょっと良くなっていいんじゃないのかなと思うんですけど、据え置かれている理由を教えてくださいいただけますでしょうか。

あと、ミックス改善、第4四半期は、前はもっと棒が高かったと思うんですけど、かなりシュリンクしているように見えるので、その辺のこの変化のところを教えてくださいいただけますか。これが1点目です。

畑：ありがとうございます。

前回は7ページで同じ図を描いていました。変化は、やはりインフレとミックス改善が入り繰っている

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

という。それ以外はあまり変化していません。なので、さっきのミックス改善が、Q3、青かったのが赤になったというのが今の減損です。

それをちょうどオフセットしてくれているというのが、インフレの改善が思ったよりもぐんと進んだと。半分ぐらいは成り行きを受身のインフレ改善ですけども、もう半分はグローバル入札と呼んでいる、能動的に安いレートを取りに行くというアクションがいよいよ効き始めています。こっちのところは、このQ4はもう少し、だからちょっと高くしているんですけど、この調子で、いい感じでインフレ対策は続いていきます。

なので、戻ると、ミックス改善であるマイナスさえなければ、本当はもうちょっと高かったということなので、Q4は、この部分だけ見ると、去年の30億ぐらいのワнтаイムがなくなるというのもあって、よりプラスになります。

甲谷様：これを来期考えるときにおいて、やはりインフレの改善が、多分この第1、第2はまだマイナスだったので、その部分はプラスになってきて、収益改善策、VC2はまだ続きますから、ここの部分はプラスを寄与していくという理解でいいんですよね。

畑：そうです。VCスクエアもそうですし、このインフレも上期がしんどかった分、翌期のyear on yearだと、上期分、半分分は完全にプラスになるので、かなりいい形で見えてくると思います。

甲谷様：分かりました。

2点目は、せっかくアントワネットさんがいらっしゃるので、12カ月から15カ月ということでロールアウトしていくということですけど、工場の稼働率を考えると、かなり稼働率が上がらないとフルな利益が出てこないんじゃないかなと思うんですけど、プロフィットのところがついてくるのは、どちらかというと2年後ぐらいということよろしいですか。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としたものではありません。

ギャヴィン：はい、そうですね。大体利益が上がるのは2025年度に入ると思います。そのときには大体損益分岐に到達すると思っています。

甲谷様：情報開示ができるかどうか分からないと思うんですが、どのようにそれを他社の他のお客様にも展開し始めるのでしょうか。CSL以外のところも可能性としてはあると思うんですね。おそらく遅れてしまったというのは、テルモなのか、CSLなのか、分からないんですけども、その遅れていたという状況はもう変化したのでしょうか。いつだか分かりませんが、その独占権がなくなるタイミングが分からないんですが、それについて、独占権に関する状況が変わったのかご説明いただけますでしょうか。

ギャヴィン：今、完全に市場に展開することができます。プラットフォームの設計を行って、あらゆるお客様に対応できるようになっています。積極的に他のお客様とも今、対話を開始しています。

甲谷様：ありがとうございます。以上です。

葭原様：UBS証券、葭原です。

1 問目は、今期の会社計画についてです。私の理解が十分でなかったら申し訳ないんですけども、3Qまでは、旧会社計画に対して、もう為替以外ではぶれたところは基本はなかったという理解で良いのでしょうか。

あと、今回は為替の影響だけを反映しているということですが、4Qの利益、差し引きで見ますと、マージンが3Qから4Qにかけてまあまあ下がるような前提になっていると思うんですが、これは通常どおり4Qはそれなりに費用が出るからというところでのよいのか、何かリスクを織り込まれているのか、その点について確認させてください。

畑：ありがとうございます。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

前回から特に変わっていません。この今回の、最後の 13 枚目で書きましたのが、為替が想定と全く同じだったら、このガイダンスと比べてどうだったのかというのが、基本、MCS の売上だけちょっと下がっているんですが、それ以外はほぼ想定どおりです。なので、薄いグレーの分、為替の分だけが上振れているということになります。

Q4 も、この見立てのマージン、少しコンサバなところもあるんですけども、基本、Q3 とマージン自体は横ばると。ただし、去年の Q4 は大きくマージンが落ち込みましたので、year on year で見るとプラスに見えるということです。あまり大きなものは見込んでいないので、前回までとも傾向は変わっていません。

葭原様：分かりました。ありがとうございます。

2 点目は、中国の件で、アクセスデバイスの VBP の話いただきましたが、24 年の 3 月以降に新価格が決まるということではよかったですか。そうすると、価格が決まるまでは、ずっと買い控えが起こると考えたほうがよいのでしょうか。あと、可能でしたら、ニューロのところの集中購買のアップデートとか、今、腐敗防止運動の影響、いろいろな議論があるので、もしあればコメントをいただけないでしょうか。

畑：ニューロのほうも VBP の影響なくはないんですけど、非常に小さいです。元々中国のニューロの事業自体が小さいので、あまり目立った影響はないです。あと、反腐敗についても、これはほぼ影響なしというのが、前回からも変わっていません。

ちょっとややこしいのが、TIS のアクセスのほうの VBP でして、これを year on year で見ると、去年が、ちょうど Q3、Q4 が、コロナが再拡大したり、ゼロコロナ政策を解除したりで大きく市況が崩れていましたので、year on year はすごくよく見えているんですけども、実際には買い控えが起こっています。なので、1 月 1 日から値が下がると思っていたので、買い控えは、実際 10 月、11 月、12 月を見ると、

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

10月がガクンと落ちて、11月、12月がちょっと戻っていると。申し上げたとおり、1月1日と思っていたのが3月にずれたので、買い控えがずっと続くかと思いきや、足元の1月を見ると、割と元に戻りつつあるので、Q4はQ3よりも多分良くなると思います。

今、言っているとおりであれば、新年度に入ったときから、いよいよ値が下がるというので、ここはマージンへの影響が大きく出てくると思います。

ただ、来期どれぐらいというのがさらに難しいのが、今は河南省のグループ、大体20省ぐらいが、1省、2省、準備できたところから始まると言われています。なので、フル20省で始まる次期はまだ分からないんです。だいたい先になると思うので、来期だけ見ても、そんなに値がドーンと一気に全部の省で下がるわけではないので、何らかの想定を置かないといけない。

プラス、それで中国の半分ぐらいの物量なので、残りの省とか、大きな都市がVBPを適用するかどうかというのも今はまだ分かっていないので、いろいろ想定を置きながら、来期のガイダンスの中に織り込んで、次回の決算発表のときには発表できると思います。

回答になっていますか。

葭原様：詳細にありがとうございました。

徳本様：日興証券の徳本です。ありがとうございます。

1問目は心臓血管についてです。来期を見たときも、この好調さは続くと思っていいのかという全体の見通しのところをお伺いしたいのと、セカンドクォーターまでは心臓血管の一部の製品において供給不足があったかと思いますが、これが足元、解消されていると見ていいのか、そして引き合いとしては、解消された後、かなり伸びてくる期待を持っていいのか、この点も併せてお願いします。

畑：ありがとうございます。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

心臓血管、今、Q3の累計で、為替除きで、8%ぐらい全体で伸ばしています。ニューロとかTA、ステントグラフトは引き続き大幅に伸ばしていますので、特にステントグラフトは、まだ日米とも、全部のアカウント、病院さんをあけきっていないので、割とこのペースで来年度も続くのではないかと思います。

今期に入って、一部部材が手に入らないので、オペレーションで少しつまずいて渋かったというのが、ニューロのSOFIAですとか、今もまだちょっと続いているんですけど、TISの北米のアクセス製品群のところも、ちょっと本来よりも1~2ポイントぐらい下げています。供給できないということで。

ということを考慮すると、ここは今もどんどん快方に向かっていますので、来期は今の好調を維持して、かつ、ちょっと今つまずいている分が回復してきますので、さらに成長を期待できると思っています。

徳本様：分かりました。

二つ目のところで、ちょっと気が早いですが、来期の要因を改めて整理いただきたいです。この収益改善策とか、グローバル入札とかも、思ったよりも効果が出ている部分があるのかなというので、来期の減益になるマイナス要因のファクターと、改めて増益になるファクター、その見方を要素別に整理いただいでいでしょうか。この3Qの状況を考えると、かなり来期は伸びるんじゃないかなという印象を持ちましたので、見落としがないか確認できればと思っています。

畑：さっきの甲谷さんのご質問にもあったとおり、インフレが良くなりますね。それが一つプラス。もう一つは、VCスクエアという原価低減策もどんどん拡大していきますので、これもプラス要因です。

さらにCSLの展開というのもあるので、今、コストが出切った状態で、売上が立っていない血漿イノベーション事業もトップラインが立ってきますので、これはまだ黒転までには至らないんですけども、赤字幅が縮小するので、これもプラスになります。

マイナスが、今申し上げたVBPのところ、中国のところを、ニューロももしかして大きくなってくると

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

か、万が一でもステントグラフトに影響が及んでくると、ここはそこそこのマイナスを見込まないといけ
ないので、ここを見極めますけど、全部足すと、まとめると、確実にプラスのほうにはなると思います。

その辺を見極めて、5月の発表のときにもう少し詳しくお話しできればと思います。

徳本様：ありがとうございます。

あと、確認ですけども、このアクセスのものは、一部値段が中国で値下げがもう分かっている気もするん
ですが、その数字を見る限りは、代理店との交渉で、ある程度かなりの部分はできるんじゃないかなとい
う印象を持ったんですが、そういう理解のままでよかったですでしょうか。

畑：われわれがどれだけ値が下がるかというのはもう見えています。それがさっき申し上げたとおり、全
部の20省でボーンと始まるわけではないので、このタイミングを予測しないといけないんですね。とい
うことがありますので、マイナスの方向の調整を入れます。値段が下がったからといって、今回のVBP
に関しては、あまり物量増は見込まない前提で多分織り込むと思います。

今ので回答になっていますか。

徳本様：はい、分かりました。大丈夫です。

森様：ありがとうございます。野村證券の森です。

まず為替の影響ですけれども、スライドの後ろのほうのページに、ドルがニュートラル、ユーロと元で効
きますというスライドがいつもあります。いつものこの計算どおりでこれからいくのか、あるいは年
によってこれが変わってきているのか、感応度が変わる要素があるのか、そして新年度、金利が下がった
ときに円高になる可能性が高くなると思うんですけれども、円高になったときのマイナスを、この感応度
どおり考えてよいのか、為替について教えてください。

畑：これは、武藤さん、いいですか。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

テルモ 武藤：感応度につきましては、今年度は大きくここから変わることはないのかなと、構造的に大きく変わることはないのかなと考えています。

ただ、為替につきましては、説明の中にありましたように、ストックとフローの部分があります。為替感応度はフローのところも影響するが、ストックのところは財務の、例えば在庫の状況とか、製造側の収支の状況が関係してきますので、ここはちょっと影響が違った方向で出る可能性があります。

当然、円高になると、フローについては逆（ネガティブ）の方向ですけれども、ストックはいずれにもふれるので、ここは数字が出たときにしっかり説明するべきだと思っていますし、説明していきたくと思っています。

森様：ありがとうございます。

あと、アメリカの大統領選挙予備選が今行われていますけれども、仮に共和党になったらどうなるかとか、あるいは前回トランプのときにどうなったかとか、アメリカの政策の影響について教えてください。

ギャヴィン：非常に答えに窮するご質問ではあるんですけれども、懸念としまして、概してどういった政権になるのかということで、今後インフレにどういった影響が出るのかということを経営者の皆さんも喧々諤々おっしゃっております。

森様：アメリカ国内で製造しなければならないとなったときに、御社はアメリカに工場があって、プエルトリコもアメリカの国内とみなされるのでしょうか。

武藤：そうですね。プエルトリコは、いろいろな政策とか、方針とか、アメリカに引きずられてきますので、その一部だと考えてよろしいかと思います。ただ、税制の面ではちょっと違った形になります。

森様：ありがとうございます。以上です。

林様：モルガン・スタンレーMUFG証券、林です。よろしくお願いします。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1点目はちょっと確認ですけれども、会計的なところでございまして、減損が18億発生していますけれども、これはほとんど売上原価で計上していらっしゃるかというところなんです。その点を最初に確認させてください。

畑：全部原価です。

林様：そうすると、粗利率が本当はもう少し高かったという扱いになって、計算すると54%ということなので、2年ぶり、3年ぶりぐらいの高水準かと思うんですけれども、サードクォーターとしてはこれが実力値と捉えてよろしいのでしょうか。

畑：そうなります。

林様：ありがとうございます。

2点目は、TBCTの受注のところ、受注分の前倒しで売上が計上されたアジアと米州でということで、事情について何も説明はなかったのですが、この前倒しの理由について教えていただきたいのと、もしかしたら需要そのものが強いという背景もあるのかなという、ちょっと勘ぐってみたりもしたいので、この前倒しの理由について教えてください。

ギャヴィン：まず二つの理由があります。

まず一つ目といたしましては、全自動の血漿の回収システムが、非常に市場の受け入れ方が良かった、全世界で非常に良い形で受けられています。お客様の体験といたしましても、安全性、スループットの面で優れているということで、早い段階で導入をされてきたということだと思います。特に、実際に血液供給では、各国において不透明さがある中では良い形で受け入れられたと思います。

二つ目に、私たちの治療デバイスのビジネスが二桁成長を遂げています。これは、細胞採取においては基本となるプラットフォームです。これらの細胞というものは、CAR-T、CRTのセラピーでも最初に使わ

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

れるものです。その部分でも非常に大きな成長が見られています。そして、プラットフォーム、そして新たな考えが他の形で提供されるようになってきているということが理由だと言えると思います。

林様：ありがとうございます。私からは以上です。

バーカー様：ジェフリーズ証券のスティーブン・バーカーです。Rikaについて二つお伺いしたいです。

さっきアントワネットの話によると、1機当たり、1日16件でもできると。それは従来からどのぐらい改善しているのかというのが1問目です。よろしくお願いします。

畑：バーカーさん、もう1回英語でお願いできますか。

バーカー様：はい。2点あります。

一つはRikaについてです。Rikaですけれども、先ほどアントワネットさんから、16人のドナー、1日の血漿採取ということですが、前回よりもそれは人数が増えたのでしょうか。

ギャヴィン：そちらの数字ですけれども、具体的なそちらの当該センターについて精査をしたものになります。

スループットですけれども、Rikaですが、30%の改善が、従前の採取時間を上回っております。つまり、これはハイボリュームなセンターであるということが言えます。この当該施設がある場所が、1台当たり掛ける16ドナーということなので、ドナーがどれくらい参加いただけるのかということにもよります。

バーカー様：ノモグラムですけれども、申請されていると思うんですが、いつぐらいに上市でしょうか。

ギャヴィン：それに関しましては、FDAの申請に関わることになりますので、その開示はできないんですけれども、CSLと臨床試験も完了しておりまして、FDAの申請を行い、承認待ちとなっております。

バーカー様：ありがとうございます。

甲谷様：せっかくアントワネットさんいらっしゃるのでも、1点だけ追加でお願いします。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

Rika にすごく注目が集まるのは分かるんですけど、Reveos についてお伺いしたいです。アメリカで PMA を取られて、今どういう形で、さっきおっしゃったのは、これが売上高に影響しているということでしたので、既に Reveos で確か 100 億ぐらい、もう海外で売っているんで、それなりのベースがある。

アメリカでも、当然これを使うと、全血の製剤のところのワークフローが非常に楽になるということで、かなり広がるんじゃないかなと思います。とはいえ、やはりアメリカのレッドクロスにデモをしてもらって、トライをして、広がっていくのにちょっと時間がかかると思うんです。Reveos の今の引き合いと、これがどのぐらいのタイミングでアメリカでの売上が立ってくるのかを教えてくださいませんか。

ギャヴィン：今おっしゃいましたけれども、Reveos は実際に既に使われ始めて何年も経過しており、良い結果が出てきています。

今、Reveos の展開としましては、まずアメリカ国内の血液センターで行っています。それがおそらく 2024 年 1 年を通じて行われることになると思います。時期尚早ですね。それを受け入れる、適用させるというものがあって、実際に血液センターにその技術に慣れてもらう時間も必要となります。

甲谷様：では、米国の赤十字はどうですか。

ギャヴィン：今、話し合い中です。ぜひ使っていただきたいと思っていますし、関心があるということも分かりますが、今の段階ではまだコミットメントはありません。

甲谷様：ありがとうございます。

赤羽様：よろしく申し上げます。2 問ということなので、営業増益率の分析の実績一つと予想を一つお願いいたします。

今、ウォーターフローチャートの 5 ページ目を見ているんですけども、これを見ますと、いわゆるグローバル価格効果というので、価格と薬価含めて 41 億上がっています。それから、売上総利益効果 9 億

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

円で、足すと 50 億ですけれど、次のページの累計との比較、それから前回の 2Q と比較すると、価格効果がすごく大きくなっているのと、売上総利益効果は、実は 2Q のときはゼロだったので、いわゆるグローバル価格の上昇とコストダウン効果がかなり 3Q にかけて顕在化していると見ていいですか。

これは前年同期なので、単純な比較はできないのかもしれないんですけど、3Q にかけてすごく粗利は良くなっていて、販管費はむしろ上がっているのに、利益改善してということなので、この効果が 3Q にかけてかなり出てきていると見ていますと、ミスリードしますか。

畑：いえいえ、おっしゃるとおりです。価格は、今年度は特に MCS の値上げを 10 月 1 日からドーンとやっていますので、Q3 でまたドーンと増えるというのは想定どおりです。おっしゃるとおりです。

赤羽様：よく分かりました。そうしますと、第 4 クォーターにかけてはそれがフル寄与して、つまり第 3 の改善が寄与して、来期はこれが年間に寄与するので、この効果は来期に倍になるという見方でいいんですか。

畑：値上げは Q4 もこのまま続きますけど、来年の Q3 まで行くと一巡するので、倍にはならず、来年の上期、year on year で強く見えるという絵になります。

赤羽様：下期は、逆に言うと、落ち着いて、上期はかなりその効果が出てくるという見方ですね。

畑：そうです。

赤羽様：分かりました。それを含めて、今後、来期のガイダンスということになるわけですか。

畑：そうです。おっしゃるとおりです。

赤羽：大変よく分かりました。ありがとうございました。以上です。

畑：ありがとうございます。

武藤：では、私、今回で最後になります。CAFO に就任してすぐに新型コロナの状況に入り、非常に当初

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としたものではありません。

苦劳しましたが、CAFOの責務という企業価値の向上という点では、ある程度全うできたのかなと思います。

GS26、今ちょうど中間というところですけども、各カンパニー、実績、数字を出せる環境は整っていますし、収益、コーポレートでいうと収益改善、もう道筋はできたと思います。ぜひ期待してほしいなと思います。これまで数々のエールありがとうございました。

以上